

論点① 多様なニーズに対応できる訪問入浴の提供体制の維持・確保

論点①

(医療ニーズへの対応)

- 訪問入浴介護については、利用者の約90%が要介護3以上の中重度者であり、利用者のうち訪問診療や訪問看護、家族等による日常的な医療的ケアの提供を受けている者は約66%を占めている。
- 訪問入浴介護では、配置職員のうち1名は看護職員の配置が求められており、専門職による医療ニーズへの対応について適切な評価が求められる。
- 重度者や医療と介護の複合的ニーズを有する高齢者への対応が求められる中、どの地域においても安定的なサービスを提供する観点から、どのような方策が考えられるか。

(看取りニーズへの対応)

- 利用者の多くが中重度者である訪問入浴介護について、在宅における看取りニーズの増加を踏まえ、利用者が希望する場所で質の高い看取りを受けられる体制を確保する観点から、訪問入浴介護事業所に求められる役割や支援方策についてどのように考えるか。

⇒ 看取りニーズへの対応については、医療・介護連携、人生の最終段階の医療・介護に関する介護給付費分科会において説明及び議論を実施予定

対応案

(医療ニーズへの対応)

- 訪問診療や訪問看護、家族等による日常的な医療的ケアの提供を受けている方へのサービス提供について、利用者の状態に応じた看護職員によるサービス提供を評価することを検討してはどうか。

訪問診療や訪問看護、家族等による日常的な医療的ケアの提供を受けている方の人数

社保審－介護給付費分科会

第259回（R8.6.29）

資料 2

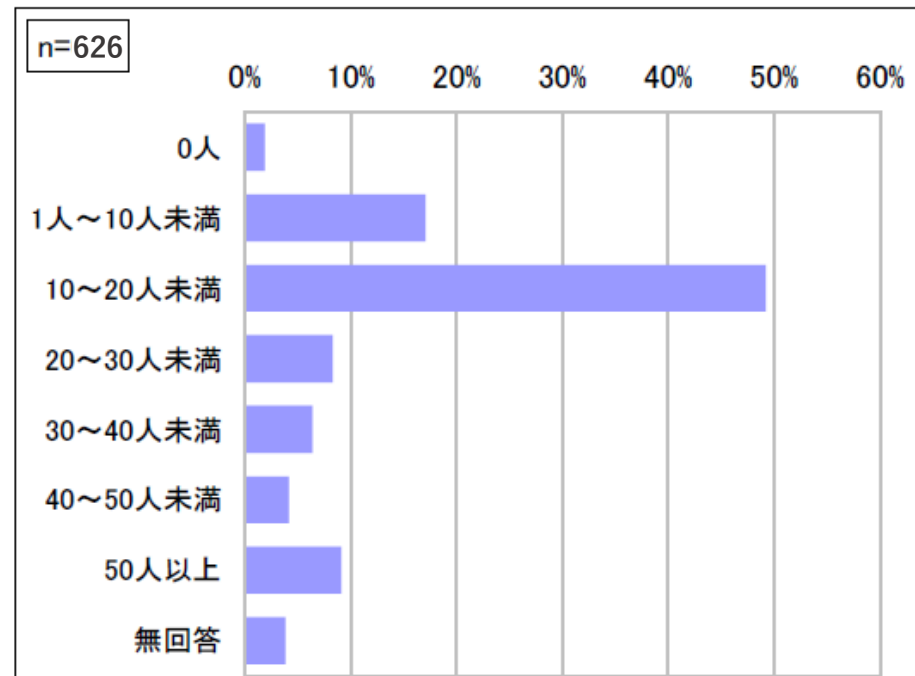
- 「日常的な医療的ケアの提供を受けている利用者」は、利用者全体の約66%を占めている。
- 事業所あたりの「日常的な医療的ケアの提供を受けている利用者」は、10～20人が最も多く、49.2%であった。

日常的な医療的ケアを受けている利用者の割合

	総数	(%)	うち医療的ケアの提供を受けている利用者	(%)
サービス提供人数（人）	21,841	100	14,379	65.83%

総利用人数のうち、訪問診療や訪問看護、家族等による日常的な医療的ケアの提供を受けている方の人数〔人〕

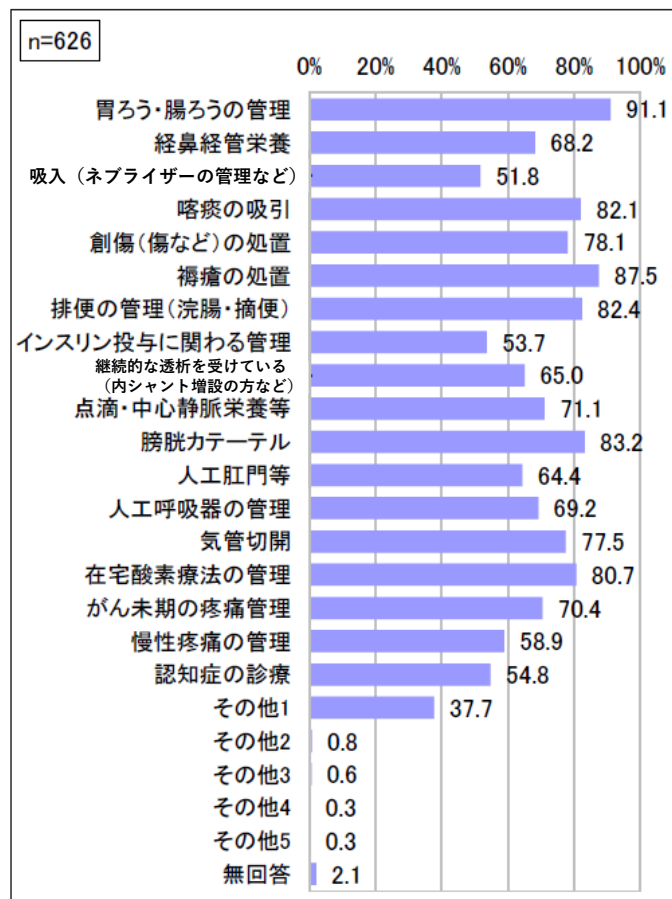
	回答数	%
全体	626	100.0
0 0人	12	1.9
1 1人～10人未満	107	17.1
2 10～20人未満	308	49.2
3 20～30人未満	52	8.3
4 30～40人未満	40	6.4
5 40～50人未満	26	4.2
6 50人以上	57	9.1
無回答	24	3.8
平均値		23.88
中央値		18.56



○「日常的な医療的ケアの提供を受けている利用者」の医療的ケアの内容としては、「胃ろう・腸ろうの管理」（91.1%）が最も多く、次いで「褥瘡の処置」（87.5%）であった。

利用者に該当する医療的ケアの内容（1名で複数の内容に該当する場合はそれぞれに回答）（複数回答）

	回答数	%
全体	626	100.0
1 胃ろう・腸ろうの管理	570	91.1
2 経鼻経管栄養	427	68.2
3 吸入（ネブライザーの管理など）	324	51.8
4 喀痰の吸引	514	82.1
5 創傷（傷など）の処置	489	78.1
6 褥瘡の処置	548	87.5
7 排便の管理（浣腸・排便）	516	82.4
8 インスリン投与に関わる管理	336	53.7
9 継続的な透析を受けている（内シャント増設の方など）	407	65.0
10 点滴・中心静脈栄養等	445	71.1
11 膀胱カテーテル	521	83.2
12 人工肛門等	403	64.4
13 人工呼吸器の管理	433	69.2
14 気管切開	485	77.5
15 在宅酸素療法の管理	505	80.7
16 がん末期の疼痛管理	441	70.4
17 慢性疼痛の管理	369	58.9
18 認知症の診療	343	54.8
19 その他1	236	37.7
20 その他2	5	0.8
21 その他3	4	0.6
22 その他4	2	0.3
23 その他5	2	0.3
無回答	13	2.1



※その他1～5

○医療管理

・ペースメーカーの管理

・NPPV 等

○処置・薬剤管理

・慢性疼痛用の医療用貼付剤

・軟膏処置 等

○観察・判断

・体調管理

・病気の管理と診察 等

○リハビリ・身体ケア

・リハビリ（筋力低下・拘縮予防等）

・清拭

○その他（理由・状態）

・通院困難のため

・廃用症候群・低栄養